

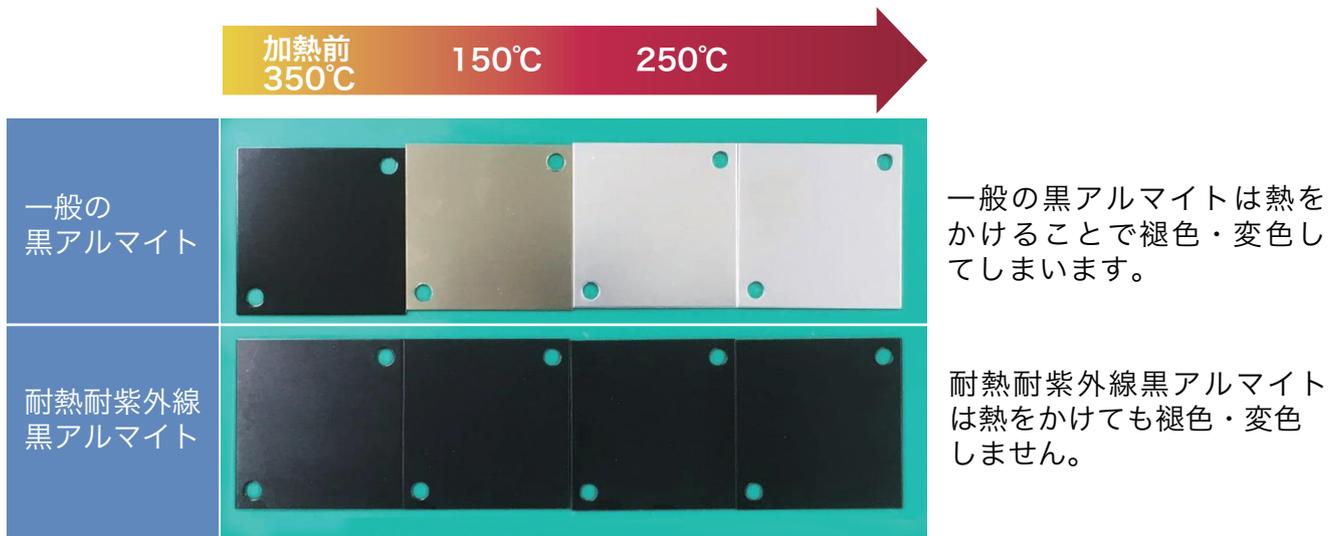
- 高温下での黒色維持が可能で、クラック・剥がれの発生なし
- 一般の黒アルマイトと比較して紫外線に対する耐候性も高く、屋外での使用も可能
- 高温下で使用される、カメラ・光源装置などの精密光学部品・センサー・外観部品などに最適
- その他、LED照明器具やヒートシンクにも利用可能

耐熱・耐紫外線黒アルマイトとは

一般の黒アルマイトは、アルマイト皮膜の中に有機染料を吸着させることで着色しているため、100℃以上の高温環境下や、紫外線・日光に長時間晒される環境下では、皮膜中の有機染料が分解し、褪色・変色してしまいます。場合によっては熱による皮膜のクラックや剥がれが生じる場合も少なくありません。

耐熱耐紫外線黒アルマイトはそのような環境下でも褪色・変色せず、また熱によるクラックも発生しない新技術を用いた製品です。

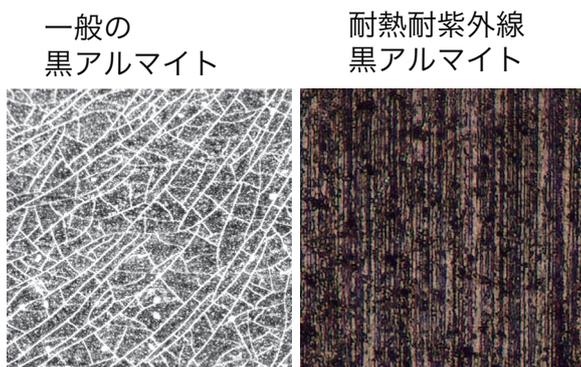
▼加熱による色の変化



一般の黒アルマイトは熱をかけることで褪色・変色してしまいます。

耐熱耐紫外線黒アルマイトは熱をかけても褪色・変色しません。

▼350℃加熱によるクラック発生の有無



一般の黒アルマイトは熱をかけることでクラックが発生しますが、耐熱耐紫外線黒アルマイトは350℃加熱でもクラックが発生しません。

▼耐熱耐紫外線黒アルマイトの皮膜性能

耐熱温度	350℃	
膜厚	5~12μm	
硬さ HV	A1000系、A5052・A5056・A6063など	400程度
	A6061	350程度
耐久試験実績	350℃×10時間でクラック発生無 140℃×2000時間でクラック発生無	
処理不可材質	A2000系・A7000系・ADC12 ほか鋳物合金	